



2023年1月23日

## 株式会社岡西建設による 「〈ひろぎん〉サステナビリティ経営導入サポートサービス」のご利用について

株式会社広島銀行（頭取 清宗 一男）では、株式会社岡西建設（本社：岡山県岡山市、代表取締役 木原 慎太郎）に「〈ひろぎん〉サステナビリティ経営導入サポートサービス」をご利用いただき、サステナビリティ経営方針の策定をご支援いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

### 【企業概要】

|                           |  |
|---------------------------|--|
| 会社名                       | 株式会社岡西建設   |
| 所在地                       | 岡山県岡山市南区中畦 293-1   |
| 代表者                       | 木原 慎太郎   |
| 業種                        | 総合建設業  |
| 事業内容等                     | 土木工事、建築工事  |
| サステナビリティ経営方針<br>【詳細：別紙 1】 | <p>「関わる人達と共に幸福感を創造する」をモットーに、土木工事、建築工事という事業活動を通じて、安心して生活できる持続可能な環境・社会・経済の実現に貢献します。</p> <p>また、社会から重宝され模範となる会社づくりを目指して、以下の重要課題に取り組んでまいります。</p> <p><b>【重要課題】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 安全管理の徹底と安全意識の高揚</li> <li>2. 社員の成長と共に企業としての成長を目指す</li> <li>3. 年齢、性別問わず活躍でき、働き甲斐を持てる環境づくり</li> <li>4. 再生可能エネルギーに関する取組強化</li> <li>5. 全ての社員が心身の健康を増進できる環境づくり</li> </ol> |

※「〈ひろぎん〉サステナビリティ経営導入サポートサービス」の概要は別紙 2 をご参照ください。

以上



広島銀行では、SDGsへの取組みを強化しており、関連するニュースリリースに「SDGs 17の目標アイコン」を明示しています。

【SDGs (Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標】  
 2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。  
 持続可能な開発のための17の目標と169のターゲットで構成。

本件に関するお問い合わせ先  
 株式会社 広島銀行 法人企画部  
 TEL (082)247-5151 (代表)

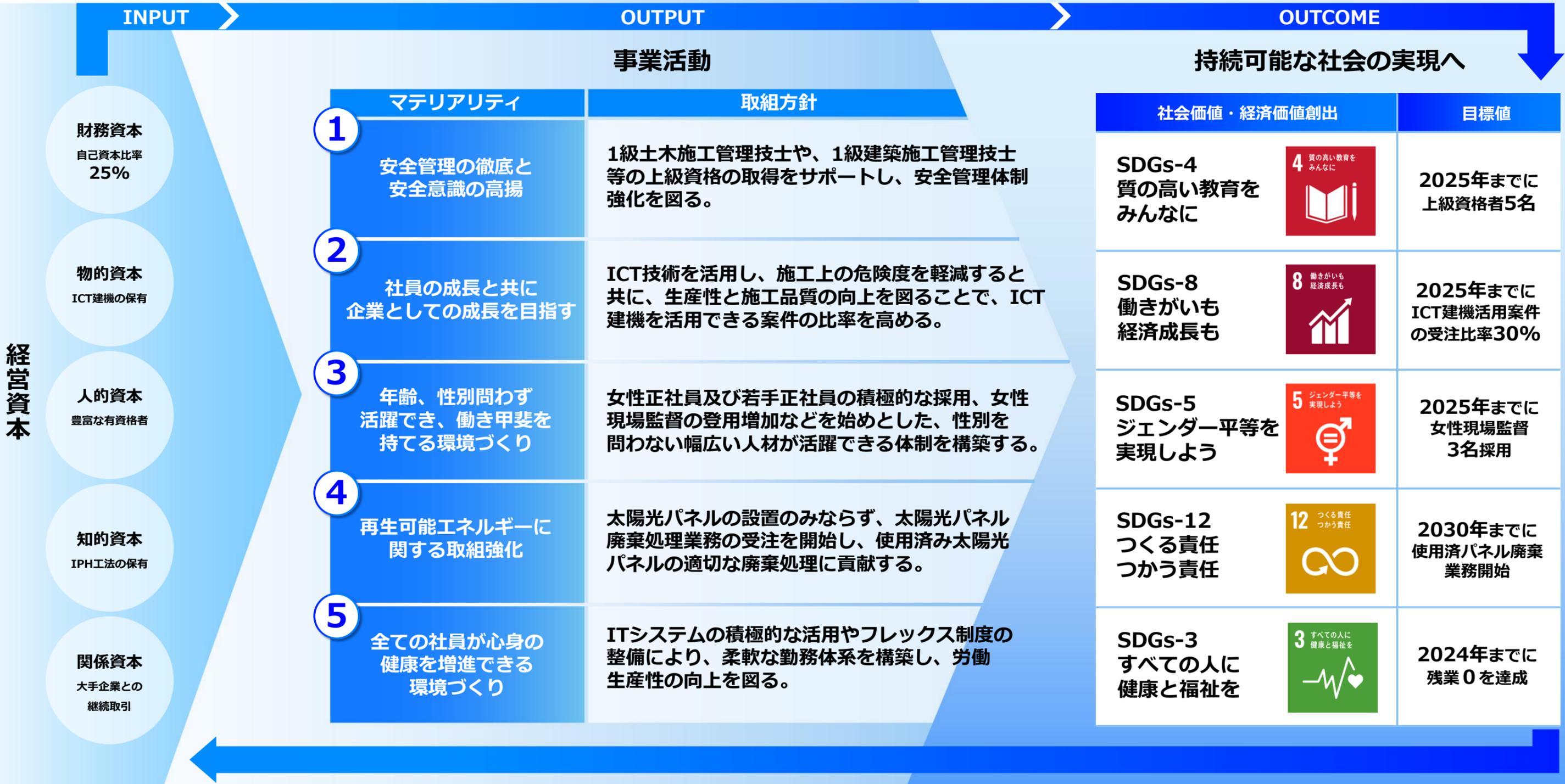
# サステナビリティ経営方針

## サステナビリティ経営メッセージ Sustainability management policy

「関わる人達と共に幸福感を創造する」をモットーに、土木工事、建築工事という事業活動を通じて、安心して生活できる持続可能な環境・社会・経済の実現に貢献していく。

### 企業理念

- ◆ミッション：人としての成長を目指し、関わる人達と共に幸福感を創造。
- ◆ビジョン：チャレンジすることへの後押しをする体制を構築する。
- ◆バリュー：相手を尊重しあう事でWIN-WINの関係を築くことができる。
- ◆プリンシプル：社会から重宝され模範となる会社づくりを目指す。



経営資本

財務資本  
自己資本比率  
25%

物的資本  
ICT建機の保有

人的資本  
豊富な有資格者

知的資本  
IPH工法の保有

関係資本  
大手企業との  
継続取引

### INPUT

### OUTPUT

### OUTCOME

| マテリアリティ                                 | 取組方針   |
|---|--|
| 1<br>安全管理の徹底と<br>安全意識の高揚                | 1級土木施工管理技士や、1級建築施工管理技士等の上級資格の取得をサポートし、安全管理体制強化を図る。                 |
| 2<br>社員の成長と共に<br>企業としての成長を目指す           | ICT技術を活用し、施工上の危険度を軽減すると共に、生産性と施工品質の向上を図ることで、ICT建機を活用できる案件の比率を高める。  |
| 3<br>年齢、性別問わず<br>活躍でき、働き甲斐を<br>持てる環境づくり | 女性正社員及び若手正社員の積極的な採用、女性現場監督の登用増加などを始めとした、性別を問わない幅広い人材が活躍できる体制を構築する。 |
| 4<br>再生可能エネルギーに<br>関する取組強化              | 太陽光パネルの設置のみならず、太陽光パネル廃棄処理業務の受注を開始し、使用済み太陽光パネルの適切な廃棄処理に貢献する。        |
| 5<br>全ての社員が心身の<br>健康を増進できる<br>環境づくり     | ITシステムの積極的な活用やフレックス制度の整備により、柔軟な勤務体系を構築し、労働生産性の向上を図る。               |

### 持続可能な社会の実現へ

| 社会価値・経済価値創出  | 目標値                               |
|--|-----------------------------------|
| SDGs-4<br>質の高い教育を<br>みんなに<br>     | 2025年までに<br>上級資格者5名               |
| SDGs-8<br>働きがいも<br>経済成長も<br>      | 2025年までに<br>ICT建機活用案件<br>の受注比率30% |
| SDGs-5<br>ジェンダー平等を<br>実現しよう<br> | 2025年までに<br>女性現場監督<br>3名採用        |
| SDGs-12<br>つくる責任<br>つかう責任<br>   | 2030年までに<br>使用済みパネル廃棄<br>業務開始     |
| SDGs-3<br>すべての人に<br>健康と福祉を<br>  | 2024年までに<br>残業0を達成                |

### 外部環境

#### マクロ環境

社会：CN対応、公共工事予算の減少  
自然：防災関連需要増加

政治経済：資材価格高騰  
技術：ICT技術向上による生産性向上

#### ミクロ環境

顧客：ニーズの多様化、リフォーム需要の増加  
競合：後継者不足に起因する競合他社の廃業

サプライヤー：下請協力業者の廃業等による減少

## 「〈ひろぎん〉サステナビリティ経営導入サポートサービス」について

## ○特長

• これまでに公表されているサステナビリティ経営に関するさまざまな指標と、日本・地域特有の社会課題、更には企業の理念やビジョン、経営資源、外部環境等を踏まえて作成した当行専用ツール※を使用し、経営者との複数回の対話を通じて、サステナビリティ経営の観点から全体を俯瞰し、その導入・実践に向けて検討すべき重要課題（マテリアリティ）の絞り込みおよびサステナビリティ経営の実践に向けた基本方針の策定をサポートします。

※ サステナビリティ経営コンサルティングに専門的な知見を持ち、地元企業へのサステナビリティ経営導入支援という主旨に賛同いただいた日本経済研究所が作成したツールをもとに、地域課題も踏まえ作成した当行オリジナルのツール

• 社内での啓発や社外への情報開示に活用可能な“サステナビリティ経営方針”のデータと、ツールを活用した分析結果を踏まえたフィードバックレポートをご提供します。（ご希望に応じて、本サービス利用にかかる当行からのニュースリリースも可能）

• ご希望に応じて、グループ機能とアライアンスを活用した具体的な計画策定支援や実行支援（別契約）を通じて、サステナビリティ経営の実践・浸透をサポートします。

## ○サービス概要

|             |  |
|-------------|--|
| 取 扱 店       | 法人取引のある当行の全営業店   |
| 対 象 となる 方   | 当行と預金取引のある法人のお客さま  |
| サ ー ビ ス 内 容 | <p>経営資源や経営理念、外部環境などを踏まえ、経営者との複数回の対話によってお取引先のサステナビリティ経営の主軸となるマテリアリティを特定し、“サステナビリティ経営方針”策定までを支援するサービスで、最終的な成果物として①・②を提供するもの</p> <p>①策定した“サステナビリティ経営方針”のデータでの提供<br/>（策定した方針は、希望に応じて当行ホームページにてニュースリリースも可能）</p> <p>②お取引先のサステナビリティ経営導入・向上の参考となるレポートの提供<br/>経営者との対話やアンケート、専用ツールによる分析過程などを踏まえた10ページ程度のレポートを作成し、フィードバック実施</p> |
| 利 用 手 数 料   | 1,100,000 円 (消費税込)   |